

ふだん着

鎌倉

2008.6

鎌倉あじさい対決!

北鎌倉と長谷、あなたの好みはどっち?



携帯サイトでもご覧いただけます

<http://itoday.jp/>

▶ PCの方は <http://kamakuratoday.com/>

「鎌倉で紫陽花といえは？」という質問をする、まず返ってくる答えが「明月院」。あじさい寺とも呼ばれる北鎌倉のお寺です。そしてここ数年で増えてきている回答は、



明月院

長谷にある「成就院」と「長谷寺」。北鎌倉エリアと長谷エリア、いずれも鎌倉で紫陽花を楽しむのに絶好の場所と言えるでしょう。そこで今回は『鎌倉あじさい対決』と銘打って、2つのエリアそれぞれの、紫陽花の特徴などを紹介してみたいと思います。



東慶寺

まずは北鎌倉エリアの明月院へ。一面の紫陽花に両側を囲まれた参道は、あまりにも有名ですね。こちらの紫陽花は、独特の青色が特徴です。日を追うごとに淡いブルーから濃いブルーへと変化していく様子は、どことなく神秘的。1つ1つの花はどちらかというかと小ぶりで控えめ。でも、参道脇を埋めるように咲き揃った圧倒的なブルーの統一感、芯の強さのようなものを感ぜさせます。梅雨の雨によく似合う、しっとり

と清楚な輝きを放つ明月院の紫陽花。どこか日本女性の美しさにも通じるような気がします。人気のお寺ですので、シーズン中の大混雑は必須。できれば平日、開門直後か閉門間際に訪れるのがベスト。北鎌倉エリアの紫陽花スポットでは、花菖蒲やイワタバコなども咲く東慶寺や、浄智寺などもおすすめです。

さて、対する長谷エリアへ。長谷寺には傾斜地を利用した眺望散策路があり、ここに咲く40種類以上約250株の紫陽花を歩きながら楽しむことができます。青色で統一された明月院に対し、こちらの紫陽花は色とりどり！種類が豊富で開花時期がずれているので、比較的長い期間、紫陽花を楽しむことができます。遊歩道の高台からは由比ガ浜の絶景も臨めます。こちらもたくさんの方が訪れますので、開門時間を目指して行くのがおすすめ。

次は成就院。108段の石段の両脇をぎっしりと埋め尽くす紫陽花の花は、長谷寺と同様に色とりどり。弾むように咲く



長谷寺

大きくてカラフルな紫陽花は、なんだか明るくてかわいらしい感じ。そんな紫陽花たちに導かれて、石段を上へ上へ…。登り切ったところで振り返れば、鮮やかな紫陽花の向こうに由比ガ浜の絶景が！ほがらかに咲く紫陽花、輝く海、かすかに鼻をくすぐる潮の香り。なんとも晴れやかな気持ちにさせてくれる成就院の紫陽花には、梅雨の晴れ間の澄み切った青空がよく似合います。



成就院

青い色の明月院に代表される、しっとり落ち着いた風情を醸し出す北鎌倉の紫陽花。そして、雨上がりの空の下、海の絶景とともに輝くように咲く長谷の紫陽花。あなたのお好みはどちらでしょう。…あ、ご存じでしたか？紫陽花の花言葉は『移り気』だそうです。北鎌倉に惹かれたあなたも、長谷派のあなたも、その日の天候や気分に合わせて、ふらりと行き先を変えてみるのもいいかもしれませんね。

